

特62-635



1200800265112



始



特62-635



1200800265112

理學



凡例

- 一、本書ハ、表解細註問答全書中ノ其ノ一ニシテ、受験者諸氏カ、必_ズ珍_クキ、最モ短時間ニ、最モ秩序的ニ了解セラレンコトヲ期シテ、編述シタルモノナリ。其ノ目的ハ、他ノ問答全書ト相異ナルトコロ無シ。
- 二、本書ハ、古來心理學ノ泰斗トシテ崇敬セラレタル諸家ノ說ヲ_採トシテ掲載シタルヲ以テ、本文ト併セ、閱讀セラルレバ、得ル所、蓋シ鮮少ナラザラン。
- 三、本書ハ、所々ニ餘白ヲ存セリ。是レ諸子ガ、研鑽ノ結果、_正書入用トシテノ豫備トナセルモノトス。

凡

例

大正
1.10.25.
内

凡例
大正元年九月

著者識

細表註解
心理學目次

第一章 總論

一	心理學	一
二	心的現象ト物の現象	七
三	心的現象分類	一六
四	意識ト注意	二〇

第二章 知的現象

五	直觀	四一
六	感覺	四二
七	普通感覺	四六
八	有機感覺	五四
九	特殊感覺	六七
一〇	知覺	七六

一	觀念	八八
二	想像	九四
三	記憶	九七
四	思考	一〇五

第三章 情的現象

五	感情	一三一
六	感應	一四六
七	情緒	一五一
八	情操	一七一

第四章 意的現象

九	意志概念	一八六
一〇	意志發達ノ順序	一九一

目

次

二 個性……………(終) 二二五

細表
註解
心理學

中等教育學會編

第一章 總論

1. 定義

意識現象即チ心的現象ヲ研究スルトコロノ學科ナリ。

一、心理學

1. 比較心理學

動物心理學ニシテ、人種ト他ノ人類以下ノ動物ニ於ケルトノ比較研究ヲナスニアリ。

口、種類

2、**兒童心理學**

兒童ノ心理ヲ研究スルトコロノモ
ノヲ云フ。教育上ニ於イテハ、最モ
必要ナルモノナリ。

3、**病的心理學**

不健全ナル意識現象、即チ白痴、瘋
癲、發狂ノゴトキ精神病者又ハ讀心
術、催眠術等ニ於ケル精神ノ狀態ヲ
研究スルトコロノモノヲ云フ。

4、**經驗心理學**

普通心理學ニシテ、一般人類ノ心的
現象ニ付キ經驗ニ依リテ研究スル
トコロノモノヲ云フ。

5、**民族心理學**

集合シタルトコロノ人種ノ心ノ作
用ヲ研究スルトコロノモノヲ云フ。

6、**生理物
心理學**

生理學ノ規則ニ依リテ、心身ノ關係
ヲ研究スルトコロノモノヲ云フ。精
神物理學ト相待ツテ、主要ナルモノ
トス。

7、**精神
物理學**

物理學ノ器械ヲ案出シテ、數學的ニ
測定スルモノヲ云フ。是ハ、ウエー
ベル氏及ビフエヒネル氏ノ創メテ
之ヲ實行シタルモノナリ。

1、**意義**

吾人ノ精神界ニ於ケル現象
ヲ云フ。
吾人ノ感覺、慾望、情緒、認
識、斷定及ビ執意等ニ於ケ
ル諸作用ヲ云フ。

は、
時間的性質ヲ有スルモノナ
リト雖モ、空間的性質ヲ有
スルモノニアラズ。

1、方法
自己ノ意識ヲ
反省シ、以テ之
ヲ研究スルニ
アリ。

A、
容易ニシ
テ便利、
且ツ確實
ナリ。

1、
現心
象的

い、
法觀直
察接

B、
缺點ハ、
自己一人
ナレバ、
其ノ範圍
ノ狭キモ
ノナリ。
之ヲ以テ
一般ヲ律
スベカラ
ズ。
自己ヲ研
究スルハ

2、研究法

2、法試験

C

最モ冷靜
ナラザル
ベカラズ
且ツ長時
間ヲ要ス
ルモノナ
リ。萬人
ニ望ムベ
カラザル
ナリ。
憎惡、偏
見、自負、

二、
心的現象
ト物的現象
象

1、觀察法

A

D

自愛等ニ
陥リヤス
キモノナ
リ。
他人ノ外
貌ニ現ハ
レタルト
コロノ事
實ニ依ル
方法ナリ
輕卒、誤
解、臆測

ろ、
法観間
察接

2、
法試
験

B		A		B	
リトス。	モ精密ナ	ノハ、最	コロノミ	トスルト	其ノ特質
					リ。
					ノ方法ナ
					試験スル
					ヲ用ヒテ
					或ル装置
					スベシ。
					ルニ注意
					ニ陥ラザ

3、
法發
達ノ

い、… 簡單ナルヨリ複雑トナル。

ろ、 不明ナルモノヨリ明瞭ナルモノトナル。

は、 粗雑ナルモノヨリ緻密ナルモノトナル。

に、 特殊ナルモノヨリ普通ナルモノトナル。

ほ、 實物的ナルモノヨリ無形的ナルモノトナル。

へ、 直覺的ナルモノヨリ再現的ナルモノトナル。

4、分類

ろ、現情

象的

即チ感情ニシテ、主觀的ニ精神ガ、苦樂ヲ感受スルトコロノ作用ヲ云フ。

い、現和

象的

即チ知識ニシテ、客觀的ニ一切ノ事物ヲ辨識スルトコロノ作用ヲ云フ。

ち、と、

遲鈍ナルモノヨリ鋭敏ナルモノトナル。
不活動的ナルモノヨリ活動的ナルモノトナル。

口、現物
象的
(次項ニ
詳解ス)

- 1、
- 2、
- 3、

は、現意
象的

主觀的ニ事物ノ注意ヲナシ、勇氣ヲ鼓舞シ、又ハ外界ニ作用ヲ表ハシ、運動行爲ヲ起スルコロノ作用ヲ云フ。

自然物、自然現象ニ於ケルガゴトク、吾人ノ外界ニ於ケルトコロノ現象ヲ云フ。
時間的性質ハ空間的性質ト有スルモノナリ。
皆、長、厚、廣ノ位置ヲ占領スルモノナリ。



自然科學 自然現象の観察
 人文科學 人間の行動の観察
 社會科學 社會の行動の観察
 精神科學 精神の行動の観察
 生理科學 生理の行動の観察
 物理科學 物理の行動の観察
 化學科學 化學の行動の観察
 生物科學 生物の行動の観察



社會科學 社會の行動の観察
 精神科學 精神の行動の観察
 生理科學 生理の行動の観察
 物理科學 物理の行動の観察
 化學科學 化學の行動の観察
 生物科學 生物の行動の観察
 自然科學 自然現象の観察
 人文科學 人間の行動の観察

1、直観

い、感覺

1、普通

飢寒ニ於ケル飽滿ニ於ケルガ如キ感覺ナリ。

2、特殊

五官ニ於ケル感覺ヲ云フ。

ろ、知覺

感覺ニ注意ノ加ハレルモノヲ云フ。

い、記憶

觀念ヲ其ノ儘ニ再生スルモノヲ云フ。

1、現知象的

2、再觀念ろ、想像

觀念ヲ變化シテ再生スルモノヲ云フ。

い、概念

觀念ヲ概括スルトコロノ作用ヲ云フ。

3、思考ろ、斷定

概念ト概念トノ關係ヲ明ニナセルトコロノ作用ヲ云フ。

は、推理

斷定ト斷定トノ關係ヲ明ニナセルトコロノ作用ヲ云フ。

三、心的現象類

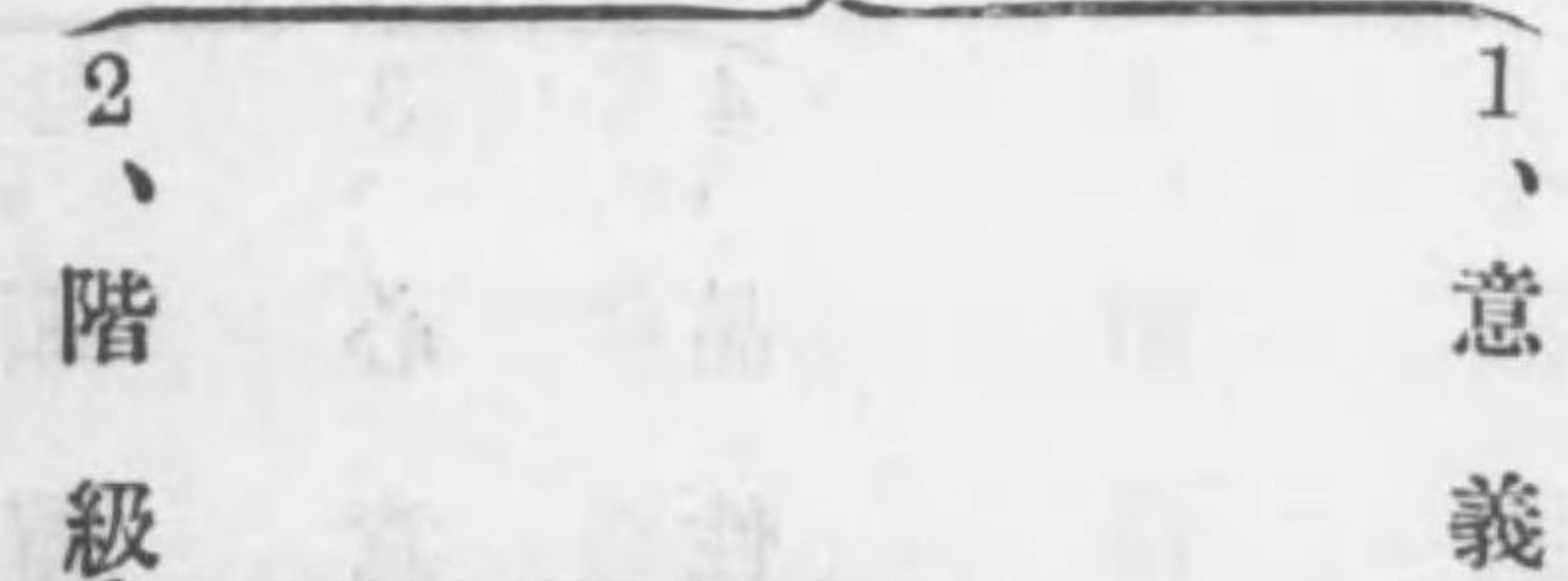
四、情現象的

- 1、感 應
觀、聽、味、及心觸ニ伴フトコロノ情ヲ云フ。
- 2、情 緒
喜、怒、哀、樂ヲ感ズルトコロノ情ヲ云フ。
- 3、情 操
い、知 的 的 求 知 心 ニ 伴 フ ト コ ロ ノ 情 操 ヲ 云 フ。
ろ、美 的 的 美 術 ニ 伴 フ ト コ ロ ノ 情 操 ヲ 云 フ。
- 1、衝 動
目的ナクシテ、動クトコロノ思情態ヲ云フ。

八、意 象 的

- 2、願 望
目的ノ明ラカニナリテ、動クトコロノ心ノ状態ヲ云フ。
- 3、心 意
目的及ビ方法手段ノ具備シテ、動クトコロノ心ノ状態ヲ云フ。
- 4、品 性
一定ノ主義ニ基ヅキテ、心ノ習慣ヲ云フ。

1、意識



1、意義

精神ノ覺醒セル時期ニアリテ、發現スルトコロノ幾多ノ觀念ヲ云フ。

い、無意識

熟眠中ニ於テスルガゴトク、何物ヲモ辨知セザルトコロノ状態ヲ云フ。

覺醒時ニ於ケルトコロノ意識ナリトイヘドモ

ろ、意識

1、不明ナル意識

諸種ノ觀念ハ、皆平等ノ力ヲ有スルモノナリトス。覺醒時ニ於ケル意識ニシテ、或ル觀念ハ、他ニ勝レテ力強クシテ、他ノ觀念ハ

四、注意 識 意ト

2、明カナル意識

皆、之ニ從ヘラル、モノナリ。吾人ガ、或ル物ニ注意ヲ集中スルトキハ、他ノ觀念ハ、皆此ノ任意ニ壓セラル、ニ至ルガゴトシ。

口、注意

2、種別

1、意義

觀念ガ、或ル一點ニノミ集中シテ、他ノ觀念ノ更ニ之ナキ作用ヲ云フ。

い、無注意

又受働的注意トモ云ヘリ。強光銳音ニ思ハズ意識ヲ集中スルガゴトキモノヲ云フ。

ろ、有注意

自己ノ意思ヲ以テ、求メテ或ル事實ニ付テ、之ガタメニ其ノ意識ヲ此ニ集中スルガゴトキモノヲ云フ。

3、
ニ應用上

い、
兒童ノ
程度ノ
顧慮

ろ、
興
味
用

兒童ハ、概シテ無意注
意ナリトス。故ニ其ノ
注意ヲ起サシメントス
ルトキハ、刺戟物ハ、
著シキモノヲ以テセザ
ルベカラズ。

教授、談話等ノゴトキ
皆然ラザルハナシ。
兒童ノ心身ハ、トカク
倦怠シヤスク、俗ニ所
謂目新シキヲ好ムモノ

は、
衛生上
ノ注意

ナルヲ以テ、之ヲ倦怠
セシメザルハ勿論ナリ
ト雖モ、心身ヲ疲勞セ
シムルコトナキニ注意
セザルベカラズ。

心理學上ニ於ケル意識ト云ヘル語ハ、
普通使用セラル、モノニ比シテ、稍廣
義ナリ。即チ意識ハ、通例充分ニシテ
且ツ完全ナル領會ノ義ニ使用セラル、
モノナリ。例ヘバ吾人ガ、追求スルト
コロノ目的ニ付キテ、意識セリトカ、
吾人ノ行爲ニ付キテ、意識セリトカ云

1、意識

フガゴトシ。又國民的意識、人類的意識、人民意識ト云フモ、亦以上ノ意識ニ使用セラレタルモノナリ。然ルニ心理學上意識ト云ヘル語ハ、實ニ一般的ニシテ且ツ根本的ナル意義ヲ有シ、個人及ビ人種ノ心的表現ノ一全體ヲ包括スルモノナリ。純心理學的、即チ獨逸ニ於ケル *Bewusstsein* ナル語ハ、物的世界又ハ物質ノ現象ニ對スル心的世界中ニ生滅消長スル所ノ一切ノ事實ヲ指ス。隨ツテ意識ハ、物質ト共ニ一切ノ存在物、吾人認識ノ一切ノ對象ヲモ包

括スルコトヲ得ベシ。換言セバ、精神又ハ我ノ存在ヲ想像シ得ルモノニハ、意識的存在物ノ名ヲ附與シ、其ノ反對ナル場合ニアリテハ、無意識的存在物ノ名稱ヲ附與ス。然レドモ意識ナル語ニ就テ、適當ナル定義ヲ與フルコトノ不可能ナルコトハ、猶ホ物質ナル語ニ就テ、適當ナル定義ヲ與フルノ不可能ナルガ如シト同様ナリ。

感情及ビ意思ヨリ成立スルトコロノ主觀的方面ヲ有スルニアリ。詳言セバ、吾人ノ意思ハ、認識作用ヲ有スルト、

2、意識ノ特色

同時ニ感情作用及ビ執意活動ヲモ有スルセノナリ。而シテ意思ハ、特ニ意識的存在物ト無生命物トヲ區別シ、且ツ人格ノ特色ヲ表示スルモノナリ。而シテ歴史、文學、藝術、科學、宗教的制度、社會的制度、法制等ノゴトキハ、皆、人間ノ知、情、意ノ協働ノ所産タリ。

生物學的現象ハ、漸次的進化ノ結果ナリトノ概念ハ、有機體ノ形成ニ關スル從來ノ意見ヲ一變シテ、有機的進化ハ、今日遍ク學者ノ許容スルトコロトナレ

リ。而シテ該思想ハ、吾人知識ノ一切ノ部門ニ適用セラレテ、遂ニ意識現象ニモ之ガ適用ヲ見ルニ至レリ。之ニ反シテ舊心理學ハ、主トシテ成人ニ現ハシタル充分發達セル意識ニ就テ、之ヲ論述シ、却テ其ノ長年月間ノ進化發展ノ所産ナルコトヲ忘却セリ。而シテ舊心理學者中ニハ、意識ハ、超自然的ノモノニシテ、神秘的直感ノゴトキモノヲ除キテハ、理會スルコト能ハズトノ僻見ヲ抱キタルモノアリテ、該現象ノ科學的研究ニ大障害ヲ與ヘタリ。又以

2、
意識の
自然的
發生

上所説ノ結果トシテ、動物ニ於ケル一切ノ心的表現ハ、意識ノ觀念中ヨリ除去セラレタリ。何トナレバ、動物ハ、精神ノ所有者ニアラズトセラレタレバナリ。而シテ舊心理學ハ、童ニ兒童ノ心的發達ノ研究ヲ等閑ニ付シタルノミナラズ、尙ホ又生長シタル人間ニ於イテモ、唯、高等ナル論理的又ハ觀念的活動ヲ研究シタルニ止マルノミ。又、感覺、單純感情、感覺的知覺、衝動的活動ノ研究ハ、大ニ等閑ニ附セラレタリ。何トナレバ是等ハ顯著ナル心靈性

ヲ有セズシテ、動物ニ於ケル心的表現ニ似タリト思惟セラレタルヲ以テナリ。從ツテ舊心理學ニ於イテハ、意識ハ、充分化學的ニ研究セラル、コト能ハザリシナリ。而シテ人種ニ於ケル意識ノ進化ノ理ヲ明ラカニシタルハ、實ニスベン非ナリ。

心的生活ハ、人間ノ獨占スルトコロニアラズシテ、一切ノ生活セル動物モ、亦之ヲ有スルトコロナリトハ、今日遍ク學者ニヨリテ承納セラル、トコロナリ。思フニ動物及ビ植物ハ、トモニ、

3、
心的起
源

有機體ニシテ、互ニ相異ナレル固有性ヲ有ストイヘドモ、亦同一ノ根本的要素ヲ有ス。即チ遍ク承納セラレタルトコロノ生命ノ器械的學說ニ依ルトキハ、動物有機體及ビ植物有機體ヲ構成スルトコロノ生命ノ器械的學說ニ依レバ、動物有機體及ビ植物有機體ヲ構成スルトコロノ第一次的要素ハ、化學的要素ノ形態トナリテ、無機世界中ニ發見セラル、コトヲ得ベシ。所謂生命即チ生物學的機制ハ、是等ノ要素ノ特殊ノ結合ノ結果ナリト。

一般ニ吾人ハ、隨意運動ナルモノハ、獨リ動物有機體ニ於イテノミ發見セラレバクシテ、植物ニ於ケル運動ハ、唯單ニ器械的諸原因ノ結果ニ外ナラズト云フコトヲ得ベシ。然レドモ、植物界ト動物界トノ區別線ハ、分明ナラザルヲ以テ、隨意運動ト器械的運動トヲ判然區別スルコトハ、常ニ容易ナルモノニアラズ。例ヘバ植物的原形質ガ、營養ヲナストキニ表ハストコロノ收縮運動ハ、隨意運動ノゴトクニ見エ、初步有機體ガ、吸收ニ依リテ爲ストコロノ

營養官能ハ、器械的活動ノゴトク見ユルガゴトシ、從テ隨意運動ヲ有シ、且ツ其ノ後景ニ於イテ、意識ヲ有スルモノハ、獨リ生物學的發達ノ或ル程度ニ達セシモノ、ミ。然レドモ、斯クノゴトキ心的性活ハ、果シテ如何ニシテ、始マルモノナルカ、唯物論者又ハ或ル實驗哲學者ノゴトキハ、心的現象ハ、物質ヨリ導出セラレタルモノナリト解釋シ、スペンサーノ如キハ、意識ハ、反射活動ヨリ導出セラル、モノニシテ個人及ビ人種ノ保存ヲ保護スルトコロ

4、
生物學的及
心的進化

ノ最初ノ運動ハ、純粹ナル器械的順應ナリ。個人ガ、其ノ外界ト絶對的ニ、且ツ完全ニ調和セザルヤ、即チ吾人ノ精神中ニ缺陷ヲ生ジ、之ニヨリテ吾ノ意識ヲ生ゼシムルモノナリトセリ。思フニ、此ノ假説ハ、有機體ノ進化ニヨリテ、意識ノ進化ヲ説明セントスルモノナレドモ、最初ノ心的現象ノ起原ヲ示スニ足ラズ。何トナレバ、假令原始的機體ノ最初ノ運動ハ、器械的ナリトスルモ、如何ニシテ有機體及ビ其ノ周圍トノ間ニ存スル不調和及ビ從ツテ有

註
意識ニ就テ

機體ト純物的諸力トノ間ニ存スルトコロノ反對ハ、意識現象ノゴトキ、全ク相異ナレル性質ヲ有スル現象ヲ生ズルニ至ルカラ説明スルコト能ハザルモノナリ。故ニ、近世ノ心理學ハ、スベンサーノ說ヲ一步進メテ曰ク、生物學的有機體ノ物的心至性ハ、眞實ナル慾望中ニ發現スト。然レドモ、慾望ハ、モト心的事實ニシテ、意識ノ存在ヲ包含スルコト、明ラカナリ、故ニ、該說モ亦、完全ノモノニアラザルヲ知ルベキナリ。セルギーノゴトキハ、精神ノ起

源ヲ説明スルコトニ代フルニ、精神中ニ慾望ノ説明ヲ尋ネントスルニ至レルナリ。

現今ノ科學的思想ニ依ルトキハ、吾人ハ、現象ノ繼續性ノ上ニ建設セラレザル所ノ一切ノ學說ヲ採用スルコト能ハザルナリ。此ノ故ニ、意識ハ、意識其ノ者ヨリ全ク異ナレルモノヨリ生起セリト思惟スルコト能ハザルナリ。若シ吾人ニシテ、動物有機體以外ニ心的生命ナルモノ之ナシトスルトキハ、ソハ生命ヲ構成スルトコロノ原始的要素ト

5、
精神論的
平物
行論的
意識

共ニ先存セル諸要素ノ結合及ビ特殊ノ體制ノ結果ナリト想像スルコトヲ得ベシ。又是等ノ原始的の心的要素ハ、無機的要素其ノモノガ、生命ニアラザル限リハ、意識ニアラズ。故ニ、無機物ニ存シ得ルガゴトキ心的要素ハ、精神ト云ヘル語ノ適用以外ニアルモノナリ。故ニ宇宙的物質ノ心的生命ハ、實在的現實的ノ生命ニアラズシテ、或ル確定セル條件ノ下ニ發現スル潛勢的生命ニ外ナラズ。是等ノ條件ハ、生命其ノモノ、條件ト符合シテ現ハル、モノニア

ラズ。何トナレバ、生活的有機體タル植物ハ、何等眞實ナル心的生命ヲ以テ賦與セラレザルヲ以テナリ。

心的生活ハ、其ノ原始的ナルモノニアリテモ、又其ノ發達セルモノニテモ、皆共ニ同一ノ要素ヲ示スモノニシテ、唯、單複ノ差異アルノミ。即チ發達セル心的生活ハ、未ダ分化ノ完成セザル最簡ナル心的生活ニ還元スルコトヲ得ベシ。即チ意識ハ、同質ニシテ、且ツ凝集セザル全體ヨリ漸次複雑ト分化トヲ増加スルニ足ルベキナリ、然レド

6、
原始的
心的
要素

モ注意ノ必要斯克ノゴトキハ、スベシ
 サ一ノ所謂心的進化ニ關スル説明ニア
 ラズ。何トナレバ、例ハ全心的生活ヲ
 反射的器械的活動ヨリ導出シタルヲ以
 テナリ。

吾人ノ心的生活ノ進化ニ最モ多ク其ノ
 特性ヲ付與スルモノハ、實ニ注意力、
 或ヒハ内的意思ノ心的生活ノ進歩的増
 加ナリトス。而シテ注意ガ、強度ト持
 續トヲ増加スルニ至レバ、至ル程、表
 象ハ、益々意思ト聯想シ來リテ、吾人
 ヲ觀念、感情及ビ衝動ノ内的世界ヲ形

7、注意ノ
 必要

成シ得ベシ。意思ノ斯克ノゴトキ進化
 ナルモノハ、種々ノ種類及ビ種々ノ強
 度ヲ有セルトコロノ感情ニヨリテ、伴
 ハレテ三個ノ根本的心的活動ハ、相互
 ニ交親組織セラレテ、互ニ因果ノ關係
 ヲ形成スルニ至ルヲ見ルナリ。然レド
 以上ノ見解ハ、必ズシモ諸學者ノ一致
 スルトコロニアラズ。

8、注意或
 ハ統覺

意識ト注意トハ、モト分離スベカラザ
 ル事實ナルヲ以テ、現代ノ心理學ニア
 リテハ、合シテ之ヲ論ズルヲ至當トス
 ルナリ。舊心理學ニアリテハ、注意ヲ

以テ、純粹ナル知的現象トナシタリシ
モ、今日ニアリテハ、注意ヲ生ジ、且
ツ之ヲシテ治勢アラシムルトコロノ感
情作用ヲモ攻究スルモノナリ。

第二章 知的現象

五、直觀

五官ニ映ズルトコロノモノヲ綜合シ、之ヲ一ノ
物體トナシテ以テ認識スル作用ヲ云フ。

口、種別
1、... 感覺。
2、... 知覺。

1、意義
心的現象ニ於ケルトコロノ最モ單ナルモノヲ云
フ。

1、客觀的

い、質(内容) 從ヒテ、自カラ異ナレ
ルモノナリ。
器官ノ性質ノ異ナルニ

六、感覺ハ順序

四、區別

2、主觀的……調子

感覺ニ伴フトコロノ快不快ノ惜ナリ。

ろ、量(強度)

感覺ヲ起スベキトコロノエネルギーノ強弱ヲ云フ。

1、

外來ノ刺戟ハ、感覺神經ノ末梢ヲシテ興奮セシムルモノナリ。

2、

神經ニシテ此ノ興奮ヲ腦ノ中樞ニ傳達シ、ココニ始メテ感覺トナルモノナリ。

い、内部的……ナリ。

體覺……有機感覺

三、種類

1、受働的

ろ、的外部

1、視覺、聽覺、味覺、感覺……特殊感覺ナリ。

2、自働的……筋覺。

2、溫覺、觸覺……普通感覺ナリ。

一、意義

身體ノ諸部ニ於イテ、普ク分布セルトコロノ神經ガ、營ム感覺ヲ云フ。

1、筋覺

い、機關

諸種ノ筋肉ノ末梢ニ存スルトコロノ知覺神經ガ、之ヲ主宰スルモノナリ。

ろ、性質

筋肉ノ伸縮、壓迫、即チ筋肉自身ガ、活動スルヨリ生ズルトコロノモノヲ云フ。

1、

視、聽、觸等ニ於ケル他ノ感覺ノ不完全ナルヲ補ヒ、之シテ確實ナラシムルモノナリ。

は、應用

2、

身體又ハ外物ノ形狀、大小、輕重、方向等ヲバ最モ確實ニ之ヲ認識得了セシムルモノナリ。

い、機關

全身ノ皮膚ニ分布セルトコロノ觸神經ノ感ズルモノナリ。

皮膚ノ表面ニ特殊ナル

七、普通感覺

1、機關

壓覺點ノ列
在セルモノ
ニシテ、之
ヲ刺戟スル
ニヨルモノ
ナリ。

2、試驗

兩脚器ニテ
之ヲ行フコ
トヲ得ルモ
ノニシテ、
結果ハ、次
項ノ如シ。

A、
舌（一耗）
ノ距離ヲ
ズル最大
範圍）

B、
第一指關
節ノ兩側
面（二耗）

C、
舌ノ赤キ
部分（五
耗）

口、種類

ろ、壓覺

3、結果

D、類及ビ大背(十一耗)
 E、額(二十三耗)
 F、手當(三十一耗)
 G、脚(四十耗)
 H、顎(五十四耗)

4、應用

I、背上、腕、腿(六十八耗)
 能ク吾人ヲシテ、外物ノ存在、物體ノ硬軟、粗漏、輕重ヲ知了セシムルモノナリ。
 皮膚ノ表面ニ散布スルトコ

2、觸覺

1、機關

ロノ特殊ナル
熱覺點及ビ冷
覺點ノ存在ス
ルモノニシテ
之ヲ刺戟スル
ニ依リテ、此
ノ感覺ノ起ル
モノナリ。
熱覺點ハ、熱
覺ヲ起サシ
メ、冷覺點ハ、
冷覺ヲ起サシ

は、
溫
覺

2、區別

ムルモノナリ
ト云フ。
然レドモ、果
シテ此ノ二點
ノ存在スルヤ
否ヤ是ハ、疑
ハシキモノナ
リト。
冷體物ヲ掌上
ニ載スルコト
少時ノ後、之
ヲ去リタル後

3、遺像

トイヘドモ、尙ホ暫時ノ間、冷ヲ感ズルガゴトキヲ云フ。

A、溫、冷、寒、熱ヲ感ゼシムルナリ。

B、身體ノ危険ヲ避ケシムルナリ。

4、應用

C、

身體ノ健康ヲ増進セシムルナリ。

八、有機感覺口、性質

イ、意義

健病、飽滿、飢渴、疲勞、痛傷等ノゴトキ感覺ニシテ、呼吸、循環、消化器ニ於ケル内臓器官ノ順調ニ行ハル、ヤ、否ヤニ依リテ、起ルモノナリ。

1、… 單純ナル感覺。

位置ハ、漠然

知的方面ニハ、價值僅少ナリ。

2、トシテ一定スルコトガタシ

快不快ノ感覺

情的方面ニハ、價值大ナリトス。

3、ノ甚ダ強キ也

ハ、應用

此ノ感覺ヲシテ順調ナラシメ、從テ氣分ヲシテ爽快ナラシメ、教育其ノ他ノ行動ヲシテ、專ラ順正ナラシムルモノトス。

イ、意義

特別ノ神經機關ニ依リテ、刺戟セラレテ以テ起ルトコロノモノヲ云フ。

い、機關

鼻腔ノ内面ナリ粘膜ニ分布セル神經ノ之ヲ營ム作用ヲ云フ。

ろ、性質

外界ニ於ケル空氣又ハ蒸氣ノゴトキ瓦斯體ニシテ嗅神經ヲ刺戟スルニヨリテ起ルモノナリトス。

此ノ區別ハ、甚ダ曖昧ナリトス。之ヲ要スル

1、嗅覺

は、區別

ニ薔薇臭、硫黃臭、卵臭等ニ於ケル形容詞ヲ附加スルニ過ギザルモノナリ。

に、種類

最モ鋭敏ナルハ、獵犬ナリ。之ニ次グハ、野蠻人ナリ。

1、

知識的、道德的ノ價值ハ、少ナキモノナリ。即チ毒物ナリヤ、將タ否ラザルヤ

は、應用

ノ識別外、敵ノ遠近ノ識別、情慾挑發等ヲナスノミナリ。

2、

之ガ練習ヲ積ムコト、益深ケレバ、益鋭敏トナルベシ。

い、機關

舌神經ニ於ケル上顎ノ軟口蓋部ノ刺戟ニアリトス。

2、味覺

ろ、性質

粘液又ハ唾液若クハ他ノ液體ニ刺戟物ヲ溶解セザルベカラザルモノナリ。重ニ香氣ト、モニ作用シテ、美味ヲ増加シ、且ツ直接ニ刺戟スベシ。

1、

稍正確ナリトス。グント氏ハ苦、甘、酸、鹼、アルカリ性味、礦物性味ノ六種

は、區別

2、

ナリトセラレタリ。右ノ六種ノモノガ、相混合シテ種々ノ味トナリテ、調和ス。

1、

直接セザルヲ得ザルモノナルヲ以テ、知識練習ノ應用ハ、少ナキモノナリ。

2、

人生ノ健否ト快苦トニ影響スルモノナリ。

に、應用

い、機關

眼ノ網膜ニ分布スルト
コロノ視神經ノ末梢ガ
之ヲ營ムトコロノ作用
ヲナスナリ。

1、

光ノ本源ハ、
エーラルノ振動
ナリトス。

2、

光ハ、眼ノ屈折
體ニ屈折セララル
モノナリ。

ろ、性質

3、

網膜面ニ倒象ヲ
生ジテ、之ヲ正
シク見セシム。

4、

網膜ハ、化學的
變化ヲ細胞中ニ
起シ、依リテ以
テ光ノ感覺ヲ起
サシムルモノナ
リ。

1、光覺

黑暗灰、微
灰等ノ種類
アリトイヘ
ドモ、眞黒
ヨリ白色マ
デノ間ニハ

3、視覺

約百種以上
アリ。

ヘルムホルツ氏ハ
綠紅青ノ
三アリト、
又ハ綠紅
青黃ノ四
アリト。
又或ヒハ
綠紅青黃
黑白ノ六

は、種類

A、

アリト。
三積鏡ニ
依レル分
析ハ、赤
橙黃綠藍
青紫ノ七
色アリト
テ、之ヲ
原色ナリ
トスルア
リ。種々
ノ色ハ、

原色ノ間
 色トナル
 モノナリ
 トス。
 補色トハ
 二色ノ混
 合シテ、
 白色ヲ呈
 スルモノ
 ナルトキ
 ハ、一色
 ハ、他色

B

2、色覺

ノ補色ナ
 リト云フ
 一色ヨリ
 他色ニ轉
 ズルトキ
 ハ、紅色
 ヲ感ズル
 モノトス
 全色盲一
 切ノ色覺
 ナキモノ
 及ビ部分

C

D

D、
 色盲即チ
 或ル色感
 ノミヲ缺
 乏スルモ
 ノ並ニ部
 分色盲ニ
 ハ赤色盲
 綠色盲ノ
 二種アリ
 トス
 遺像トハ
 或ル色ヲ

九、特殊感覺

E、
 充分ニ凝
 視シ、後
 目ヲ閉ヅ
 ルカ、又
 ハ白色ノ
 物ヲ視ル
 トキハ、
 少時原色
 ヲ眼中ニ
 殘スモノ
 トナル。

ほ、應用

1、
スベテノ知識ノ源泉トナルモノナリ。

2、
光色ノ快感ヲ與フルモノナリ。

3、
天然及ビ人工ニ於ケル美術的趣味ヲ覺ラシムルモノナリ。

い、機關

内耳ノ迷路中ニ於イテ聽神經ノ分布スルモノニシテ、之ヲ刺戟スルニ由リテ、聽覺ノ作用

ろ、經過

ヲ營ムモノナリ。
先ヅ物體ノ音響ハ、空氣ノ傳達媒介ニヨリテ以テ、耳内ニ到達スルモノナリ。

即チ響音ニシテ、振動ニ規律アルアリ、聽者ニ快感ヲ與ヘ、恍惚トシテ無我ノ

1、調音

口、種類

2、調音ノ種類

境ニ遊バシムルモノヲ云フ。

A、高低。

B、強弱。

C、音色。

D、ト不協和音。

又雜音トモ云フ。振動ニ規律ナキ

は、種類

3、躁音

モノナルヲ以テ、調和セズ。故ニ不快ノ感ヲ與フルモノナリ。

4、アクセント

アクセントハ、言語ノゴトキ、思想感情ヲ發表スルモノヲ云フ。

4、聽覺

に、應用 2、詩歌

1、思想

感情ヲ交換
スルモノナ
リ。

音樂ノゴト
キ快樂及ビ
幸福ヲ受ク
ルモノナ
リ。

3、知識

學術技藝ノ
習得トナル
モノナリ。

1、知覺

1、
感覺ノ
意義

感覺ニ注意ヲ加へ、自働的ニ外界ニ
於ケル或ル特別ナルトコロノ物ト
ナシ、以テ外界ノ知識ヲ得ル作用
ヲ云フ。

い、

感覺ヨリ一段ノ進歩ヲナシ
タルモノニシテ、其ノ分量、
性質トモニ複雑ナルモノヲ
云フ。〔例〕色ニ於ケル赤、
白等ヲ識別シ、又ハ音ノ高
低ヲ辨ズルガゴトキヲ云
フ。

何レノ方面ヨリ來レルカ、

2、感覺ト
點ノ差異

ろ、

又何レノ方面ヨリ去リシカ、
若クハ何レノ場所ヲ占ムル
カヲ知ルガゴトキヲ云フ。
〔例〕物ノ遠近又ハ大小ヲ知
ルガゴトキモノヲ云フ。

は、

種々ノ感覺ヨリ得タルモノ
ヲ綜合シテ、一團ノ知識ト
ナスモノヲ云フ。〔例〕花ノ
色、香、形等ヲ綜合シテ、一
ノ花例ヘバ梅花トナスガゴ
トキヲ云フ。

に、

意思ノ作用ヲ以テ、充分ニ
注意スルモノナリ。

ほ、

快不快ノ度ノ一層進化スル
モノナリ。感覺ハ、單純ナ
ル快、不快ナリト雖モ、知
覺ハ、一層進化シタルモノ
ニシテ、色ノ美醜ヲ辨知ス
ルガゴトシ。

へ、

心ニ於ケル全體、即チ知、情、
意ノ三者ノ共ニ作用スルモ
ノヲ云フ。

一〇、知覺

1、皮膚

い、性質

皮膚、關節、筋肉等ノ感ニ依リテ、自己身體ノ感ト外物ノ感トヲ知悉スルニ至ルモノナリ。

ろ、價值

眼ノ知覺ト共ニ相働キテ、重要ナル作用ヲ營ムモノナリ。

い、性質

觸感、筋感ノ補助ヲ得テ、物ノ空間的存在ヲ識別スルコトヲ得ルモノナリ。

2、鼻

3、耳

ろ、價值

知識トシテノ價值ヲ認メザルナリ。

い、性質

觸覺及ビ視覺ト共ニ作用シテ、距離ノ遠近等ニ於ケル空間的知識ヲ得ルモノナリ。

1、

前方ヨリノ音響ハ、明ラカニ之ヲ聞クコトヲ得ベキモ、後方ヨリノモノハ、知覺ヲ誤ルコト多シ。

口、種類

ろ、價値

2、

左右兩側ヨリ音ノ強弱ヲ發セシムルトキハ、弱音ノ方ハ、負クルモノトナリテ唯、強音ノ方向ヨリ來ルモノト知覺ス。

い、性質

舌筋ニ於ケル種々ノ作用ト觸感、筋感ト相作用シテ、食物ノ性質、形狀、大小、硬軟、甘

4、舌……

ろ、價値

酸苦等ノ味等ヲ辨ズルモノナリ。練習ヲ積ムニ從ヒテ漸ク精密トナルモノナリ。〔例〕酒商ノ利酒ニ於ケルガゴトシ。

1、色ト

網膜ノ部位ニヨリテ、定マルモノナリ。

眼球ニハ六種ノ筋肉ノ附屬

い、性質

2、物ノ遠方
向ト

A、

スルモノ
ニシテ、
是等ノ作
用ヲ借リ
テ、容易
且ツ確實
ニ知覺セ
シム。
眼球ノレ
ンズハ、
其ノ毛様
筋ノ作用

5、眼……

B、

ニ依リテ
形状ヲ變
ジ、之ヲ
調節シテ
焦點ヲ結
バシムル
モノナ
リ。此ノ
筋ノ伸縮
ニヨリテ、
遠近、方
向ヲ知ル

ろ、價値

1、
網膜上ニ於ケル
映像ハ、平面的
ノモノナリト
ス。立方的ノ觀
念ハ、觸覺、筋覺
ノ經驗ニ待ツ。

2、
知覺ヲ得ルトコ
ロノ最高機關ナ
リトス。

ヲ得ベ
シ。

6、幼覺

1、意義
知覺ノ一種ナリトイヘ
ドモ、錯誤ナリ。幼影
又ハ幻像ト云フ。

2、應用
知覺ハ、スベテ幻覺ノ
傾向ヲ有ス。バノラマ
ノゴトキハ。幻覺ノ利
用ト見ルベキモノナ
リ。

認識ノ最モ初步的の形成ナル感覺ナ
ルモノハ、常ニ感情ノ或ル調子ト結
合スルモノナリ。此ノ感情ノ調子
ナルモノハ、或ル學者ノ考フルガゴ

トク、決シテ感覺其ノモノニ固着セルモノニアラザレバ、又感覺ノ變化ニ依リテ、變化スルモノニモアラズ。思フニ斯クノゴトキ誤解ハ、未ダ感情ノ特性ヲ認メズ。且ツ之ヲ以テ、感覺ニ於ケルガゴトク、外的印象ニヨリテ、直接ニ生ズルモノナリトスルニ依レリ。思フニ外的印象ハ、吾人ニ感覺ヲ惹起シ、感覺ハ、全ク主觀的ナル感情ノ調子ヲ惹起ス。此ノ感情ノ調子ナルモノハ、吾人ノ意識ノ状態、吾人過去ノ心的情

■ 感覺ト感情

態及ビ個人的性格ニ從屬ス。是ニ同一ノ知覺ガ、各人ニ相異ナリテ、感ゼラレ且ツ時ニ往々反對ノ感情スラモ、惹起セシメ又種々相異ナレルトコロノ知覺ノ類似セル感情ヲ惹起セシムル所以ナリ。此ノ故ニ感情ナルモノハ、決シテ諸表象ヨリ發生セルトコロノ第二次的現象ニアラズシテ、寧ロヴントノ説明スルガゴトク、各場合ニ於イテ、意識ノ投合ヲ表ハストコロノ單純ナル現象ヲ知ルベシ。感情及ビ意思ノ主

觀的要素ハ、人格ヲ構成シ、之ニ依
 リテ、一個人ト他ノ個人トノ區別ヲ
 ナスコトヲ得ベキナリ。之ニ反シ
 テ表情ニ基ケル認識的部分ナルモ
 ノハ、一切ノ各個人ニ共通シ、且ツ
 一般的原理ニ還元シ得ベキ客觀的
 要素タリ。之ニ由リテ、之ヲ觀ルト
 キハ、吾人ノ有スル思想ノ流ナルモ
 ノハ、等齊ニ表情ノ外的要素ニヨリ
 テ規正セラル、コトナクシテ、寧ロ
 表象中ニアリテ、吾人感情ノ原理ト
 最モ調和スルモノヲ撰擇スルモノ

ナルコトヲ知ルベシ。隨テ感情及
 ビ意思ハ、意識ノ原始的官能ニシ
 テ、且ツ心的生活ノ發達ニ取リテ、
 根本的ニ重要ナル原始的官能タル
 コトヲ知ルナリ。

1. 意識

義

直感シタルトコロノ事物ノ心中ニ留存シテ、假
 令實物ナシトイヘドモ、實物ト同一ノ心念ノ意
 思ニ上ルモノヲ云フ。

い、

實物が、覺官ヲ直接ニ刺戟シテ
 意識ニ上リタルモノハ、直觀ナ
 リトス。

一、觀念

ロ、直觀ノ對比

1、

ろ、

假令實物ナシトイヘドモ、同一ノ心念ノ意識ニ上リタルモノハ觀念ナリ。

2、

い、

直觀ハ、恰モ鏡ニ映ジタル物體ノ像ノゴトキモノヲ云フ。

ろ、

觀念ハ、恰モ寫真ノゴトキモノヲ云フ。

い、意見

觀念ノ再ビ出現シ來ルコトヲ云フ。

1、再生

1、

強度ノ刺戟ヲ加フベシ。

ハ、再生ト聯合規則

ろ、

明確精緻ナル事項

2、

熱心注意ヲナスベシ。

3、

再三之ヲ反覆スベシ。

4、

觀念聯合ノ法則ヲ利用スルニアリ。

い、類似率

類似セルトコロノ觀念ハ、相互ニ再現スルモノナリ。寫真、又ハ肖像ヲ見テ其ノ人ヲ思ヒ出シ、風景圖ヲ見テハ、

2、
觀念聯合規則

ろ、
反對律

曾遊ノコトヲ想ヒ出ス
ガゴトキヲ云フ。
反對ノ觀念ハ、相互ニ
再現スルモノナリ。富
ヲ見テ、貧ヲ思ヒ、善
ヲ見テ、惡ヲ想フガト
キヲ云フ。

同時ニ意識
ニ上リタル
トコロノ觀
念ハ、一ヲ
見テ、他ヲ

ろ、
接近律

1、
俱在律

想ヒ出スヲ
云フ。芳野
山ニ遊ビテ
ハ、櫻花ヲ
想ヒ出スガ
ゴトキヲ云
フ。

2、
繼續律

逐次相亞ギ
テ、意識ニ
上リタルト
コロノ觀念
ハ、其ノ順

イ、意義

嘗テ得タルトコロノ事實ノ變化シテ、新ニ結合シタルトコロノ觀念ノ再生ヲ云フ。

次ヲ逐ヒテ想ヒ出ス。詩歌、文章、唱歌ニ於ケルガゴトキヲ云フ。

い、像的受働

談話ニ於ケル聽聞ヲナスガゴトキヲ云フ。其ノ材料ハ。他ニ之アリトス。由リテ之ヲ基礎

トシテ想像スルモノナリ。

ろ、自働的想像

意匠、工夫ニ於ケルカゴトキモノ、即チ是レナリ。之ニ由リテ、自カラ有セルトコロノ材料ニ由リテ、想像スルモノナリ。

い、知的想像

學理ノ研究ニ於ケルガゴトク、知識收得ノ作用ヲ云フ。

ロ、種類

1、方法依類

知的現象

二、想像

2、目的依る種類

ろ、情的想像

スベテ感情ノ満足ニア
ルモノニシテ、詩歌、
小説、音樂等ニ於ケル
ガゴトシ。

は、意的想像

實行ヲ以テ、目的トス
ル作用ニシテ、發明、
又ハ手藝等ノゴトキ、
發意ヨリ成ルヲ云フ。

い、妄想

専ラ現實ヲ離レ、架空
虚談ニ陥リタルトコロ
ノ想像ヲ云フ。

一、意義

嘗テ得タルトコロノ事實ヲバ、原形ノ儘ニ再現
スルトコロノ作用ヲ云フ。

ハ、階級ト記憶トノ比較

3、階級

ろ、理想

理性ニヨリテ、現實ヲ
離レ、其ノ想像ノ完全
ナルモノトナルヲ云
フ。

4、比較

い、記憶

成ルベク原形ノマ、ニ
之ヲ再現セシムルニア
リ。

ろ、想像

成ルベク變形シタルモ
ノノ再現ナリ。

口、方解

1、把住…記憶スベキ事實ヲ固持スルコト。
2、再現…把住シタルトコロノ事實ノ復現ナリ。

ハ、善良記憶

1、把住…極メテ容易ナルコト。
2、再現…迅速ナルコト。
ろ、正實コナルト。

ニ、種類

1、器械的記憶…何等ノ意味ヲ有スルコトナクシテ、器械的ニ聯合スルモノヲ云フ。文學、言語ニ於ケルガゴトシ。
2、理解的記憶…ヨク意味ヲ理解シテ以テ論理的ニ聯合スルモノヲ云フ。因果ノ關係等ヲ記憶スルガゴトキモノナリ。

一三、記憶

ホ、發達衰運

3、人工的記憶…偶然ナル關係ヲ聯合セシメテ、之ヲ記憶スルモノニシテ、記憶術ノ如キモノ、是レナリ。
1、幼童期…最モ盛ナルモノニシテ、其ノ頂點ハ、十一二歳ニアリ。
2、青年期…幼童期ニ次デ盛ナリ。
3、成年期…三十歳ノ頃ヨリ稍衰フルモノナリ。三十二三歳ニ至レバ、其ノ頂點ノ半バトナルモノナリ。
4、壯年期…其ノ末期タル五十二三歳ニ至ルトキハ、更ニ其ノ半バトナルモノナリ。

應用

5、老年期

六十歳ヲ超ユルトキハ、漸次低下スルモノナリ。

1、

幼童期ニアリテハ特ニ合法ノ練習ヲナスベキモノトス。

2、

モトヨリ天稟ニヨリテ、多少ノ相異アルモノナリ。之ヲ最モ有効ニ助長セシムルモノトナスベシ。

3、

… 神経系ノ衛生上、大ニ注意ヲナスベシ。

1、意義

觀念ノ分解的結合ニシテ、換言セバ、觀念ノ内容ニヨリテ、之ヲ總合スルモノ、ゴトキヲ云フ。

い、意義ノ屬性ヲ結合テシ、之

觀念ニ共通スルトコロ

ニ由リテ、一心念ヲ造ルニアリ。

1、比較

植物ナル概念ヲ比較スルニハ、櫻、梅、桃、杏ヲ比較シ、其ノ何レモ通有ナルトコロノ點ト否ラザル點トノ解識ノ作用ナリ。

1、概念

ろ、順序

2、抽象

3、概括

共ニ通有セ
 ルトコロノ
 點ヲ抽キ、
 否ラザル點
 ヲ捨ツルト
 コロノ作用
 ヲ云フ。
 通有スルト
 コロノ諸點
 ヲ一括ニシ
 テ、一ノ心
 念トナスノ

1、名稱

作用ヲ云
 フ。
 概念ノ記號
 ナリ。論理
 學ノ上ヨリ
 云フトキハ
 名辭ト稱セ
 リ。
 名辭
 屬性
 ヲ云
 フナ

知的現象

は、
性
質

2、
義ノ名
意辭

B、
外延

フ。馬、猿、犬、猫等
ト云ヘルガ如シ。
内包ノ増スト

心理學

A、
内包

リ。温血毛生哺乳胎生等ノ
ゴトキヲ云フ各辭ノ數ヲ

一四、思考

3、分類

B、規則

フヲ云
標準ハ、
常ニ
同シ
トツ
且ツ
正確
斷定
ナル
コト
ヲ要
ス。

A、區分

C、兩者ノ關係

キハ
外延
ハ減
ジ、
内包
外延
ノ關
係ニ
ヨリ
テ、
區分
スル

い、意義
 概念ト概念トノ關係ヲ
 定ムルトコロノ作用ヲ
 云フ。

ろ、名稱ト
 部分

1、
 論理學ニ於イテ
 ハ、斷定ヲ命題
 ト云フ。

2、
 賓辭及ビ連辭ヨ
 リ成ルモノヲ云
 フ。

スベテノ馬
 ハ、動物ナ

は、種類
 ……命題…

1、全稱
 リト云フ
 ハ、肯定ニ
 シテ、スベ
 テノ馬ハ、
 植物ニアラ
 ズト云フハ
 否定ナリ。
 或ル人ハ、
 正直ナリト
 云フハ、肯
 定ニシテ、
 或ル人ハ、

2、特稱

に、形式

1、正題式

正直ニアラズト、云フハ否定ナリトス。

前例ニ於ケルガゴトキ條件ヲ有セザルモノヲ云フ。

設若命題ト云ヘルハ、條件付ノモ

2、命題體

ノヲ云ヒ、離接命題トハ、條件ヲ撰擇スルモノヲ云フ。

い、意義

既知ノ斷定ヨリシテ、新斷定ヲ得ルトコロノ作用ヲ云フ。

1、名稱

論理學上ニ於イテハ、三段論法又推測式トモ云ヘ

ロ、階級

ろ、
分ト名
部稱

2、
部分

A、
前提

大前提
ニテハ
人ハ動
物ナリ
トシ、
小前提
ニテハ
徳川家
康ハ人
ナリト
ス。

リ。

3、
推
理

は、
種
類

1、
法歸
納

故ニ徳
川家康
ハ、動
物ナリ
ト斷案
ヲ下ス
銅鐵ハ、
鑛
物ナリ
銅鐵
ハ、堅
シ。
故ニ鑛
物ハ
堅シ。
鑛物ハ堅

B、
斷案

2、演繹法
 シ。鉛ハ鑛物ナリ故ニ鉛ハ堅シ。

精神ノ概念ニ關シテハ、古來ニ大學派アリ。第一ハ、精神ハ、本質性ヲ有スルモノトナスモノニシテ、他ハ心的事實ノ現實性ヲ説クモノナリ。思フニ前説ニ由ルトキハ、精神ハ、意識現象ノ本質タルコト、猶物質ガ、物的現象ノ本質タルガゴトシ。而シテ該説ハ、主トシテ古代ニ行ハレタルトコロニテ、プラトーンノゴトキハ、精神ヲ以テ、絶

對的ニ非物質ナル或ル物ト思惟シ、アリストートルノゴトキハ、心室又ハ精神ノ概念ト有機的活動ノ概念トヲ混同セリ。又心室ハ、物質ニ反對シテ、絶對的ニ獨立ナル特性ヲ有スルモノトナセシハ、デーガルトヲ以テ、嚆矢トナス。之ヲ詳言セバ、デーガルトハ、精神ヲ以テ、之ヨリ一切ノ思想、感情、執意、活動ガ、發生スルトコロノ本質トナスモノナレバ、氏ノ所謂精神ノ科學ナル語ハ、今日ノ所謂心的事實ノ經驗的研究ト其ノ趣ヲ異ニセルコト、明

ラカナリ。而シテデーガルト及ビ其ノ學徒ハ、意識ノ概念ヲバ、唯單ニ高等ナル論理的心的過程ニ限リタルコトハ吾人ノ注意ニ價スベキコトニシテ、其ノ後ライブニツツハ、此ノ主知說ヲ擴張シテ、表象ヲ作ルトコロノ朦朧タル心的現象即チ小知覺ヲモ意識ノ範圍内ニ抱括セシムルニ至レリ。即チ此ノ說ニ由レバ、意識ノ闕ノ下ニハ、小知覺ノ總合起リ、從ツテ小知覺ハ、吾人ニ單純ナル感情トシテ現ハル、コトヲ信ゼシメタリ。斯クノゴトクニシテ、ラ

イブニツツハ、哲學上ニ無意識ノ概念ヲ紹介スルニ至レリ。然レドモ、心理學徒ノ形而上學的説明ハ、空ナル抽象ヨリハ、寧ロ事實ヲ重ンゼシモノヲ満足セシムルコト能ハズシテ、英國ノ連想學說ハ、意識現象ノ記憶ニ就テ、經驗的方法ヲ採用シ、且ツ意識現象ノ始原的原因ニ關スル研究ヲ放棄セシガ、ヒユームノゴトキハ、該問題ハ、不可解釋ナリトナセリ。即チヒユームハ、當時心理學徒及ビ唯物論者ニヨリテ、維持セラレタル本質ノ原則ヲ拒絕シタ

リ。思フニ心靈論者ハ、心的過程ノ心靈の本質ノ發現ナルコトヲ主張シ、之ニ反シテ、唯物論者ハ、心的過程ヲ以テ、物質的本質即チ腦ノ發現ナリトセリ。サレバ彼ノ自然體系ニ於イテ、ホルバツハハ、吾人ニ取リテハ、精神ハ其ノ上ニ作用スルトコロノ物質的原因ニヨリテ、動カサレ且ツ變形セラル、コトヲ知ルヲ以テ、充分ナリ。此ノ故ニ、精神ハ、其自物質的ナリト斷言シ得ベシ。精神ガ、本質性ヲ有スト云ヘル學說及ビ殊ニオルフノ合理的心理學

ハ、カントニ依リテ、反對セラレタリ。即チカントハ、合理的心理學ガ、單純ナル思惟の本質ノ存在ヲ證明セントノ一切ノ努力ハ、無益ナリ。何トナレバ吾人ハ、獨リ現象ニ就イテノ認識ノミヲ有スレバナリ。此ノ故ニ、吾人ハ、吾人ノ意識ニ發現スルトコロノ心的過程ヲ檢スルコトヲ以テ、満足スベクシテ、決シテ此ノ上ニ超過スルコト能ハザルナリ。又外界ノ現象ニ就テモ、其ノ内容ヲ認識シ得ルモノニアラズ。然レドモ、外的現象ハ、內的現象ニ還

元スルコト能ハズシテ、內的現象モ亦外的現象ニ還元スルコト能ハザルナリト。此ノ故ニ、カントハ、心靈論者ニモアラザレバ、又唯物論者ニモアラズ。而シテセルリング、フイテテ、ヘーゲルノ哲學體系ハ、獨リ思想ノミガ絶對的實在ヲ現ハスト云ヘル原理ノ上ニ建設セラレタリ。然レドモ是等ノ人々ハ、形而上學者ニシテ、其ノ實適當ニ心理學者ナリト云フヲ得ズ。而シテ實在的唯心論或ヒハ批評的唯心論ノ建設者タルヘルバルトハ、心理學ハ、唯單ニ一

精神ノ概念

般的哲學的原理ノ適用ニ過ギズトナセシニモ拘ハラズ、コレニ嚴密ナル科學的研究法ヲ採用シタルハ、洵ニ氏ノ功績トナサザルヲ得ズ。而シテヘルバルトハ、其ノ心理學ニ於イテ、心的本質ヲ採用シタルモ、其ノ意義ハ、從來ノ心靈哲學者ノシテ相異ナレリ。思フニ舊心靈哲學者ハ、思ヘラク精神ナルモノハ、意識ノ種々ノ現象中ニ自カラ發達スルモノ、隨テ心理學ノ最高目的ハ、此ノ最内部ナル本質ニ徹底スルニアリト。然ルニヘルバルトハ、吾人ハ

唯其ノ中ニ精神ガ、自カラ發現スルトコロノ形式、即チ表象ノミヲ知覺シ得ベクシテ、精神ノ眞實ナル性質ハ、吾人ニハ、不可知的ノモノナリトセリ。而シテヘルマン、ロツチエノ如キハ、心的本質ノ存在ヲ主張スル學說ト科學的經驗ノ豫件ドヲ調和セルト企テタリシトイヘドモ、猶ホ全然心的本質ノ概念ヲ脱却スルコト能ハザリシモノナリ。然レドモ現代ノ心理學者ハ、一般ニ該原則ヲ放棄シテ、唯單ニ經驗ノ豫件ヲ保持スルノミ。即チ英國ノ心理學者及

ピヴント、ハウルゼンノゴトキ、獨逸心理學者ハ、本質論ニ反對シテ、心的事實ノ現實性ヲ承認スルニ至レリ。即チ現實論ニ依ルトキハ、意識過程ハ、假設的心的本質又ハ假設的物質的本質ト何等ノ結合ナクシテ、現實的、獨立的價値ヲ有スト云フニアリ。此ノ故ニ、現實說ニ依ルトキハ、意識ナル語ハ、個人ニ關係セル心的事實ノ全集合體ヲ指スニ外ナラズ。随ツテ意識ナル語ハ、是等ノ過程以外ノ一切ヲ除去スルトコロノ集合概念ニ外ナラズ。然ルニカント

ノゴトキハ、吾人ハ、事物ノ本質ヲ知ルコト能ハズシテ、唯、其ノ現象ノ之ヲ知り得ベシト説キタルニモ拘ハラズ。猶ホ本質ニ許スベカラザルモ、可思惟的ナリトセリ。而シテヴントノゴトキハ、實ニ一步ヲ進メテ、吾人ハ、固定不偏ナル本質ガ、物的現象ノ下ニ横ハルコトヲ思惟スベキ權理ヲモ有スルモ、心理過程ノ下ニ本質ノ横ハレルヲ想像スルヲ得ズトナセリ。蓋シ物的世界ノ現象ハ、努力不滅ノ法則ニヨリテ、支配セラレ、隨テ其ノ分量ニ於イ

テ、不變ナルモノアリ。加之物的世界ノ現象ナルモノハ、分量ナル特性ノ外ニ何等ノ特性ヲモ有スルコトナキモノナレバ、吾人ヲシテ其ノ根底ニ物質ト稱スル不變ノ本質アリトノ信念ヲ懷カシムルモノナリ。然ルニ心的過程ナルモノハ、固有ノ價值ヲ有シテ、固定セル分量ニ還元セシムルコトヲ得ズシテ連續的增加ト云ヘル性質ヲ有スルモノナルヲ以テ、物的現象ノゴトク、其ノ根底ニ本質アリト思惟スルコト能ハザルナリ。斯クノゴトキ見解ヲ有スル心

理學ハ、ランゲニヨリテ、靈魂ナキ心理學ト名ツケラレシガ、其ノ説ハ、其ノ後ヴントニ依リテ、明的ニ表明セラレテ、舊心理學ニヨリテナサレタルガゴトク、假設の本質ヲ研究セズシテ、唯、現實トシテノ心的事實ヲ研究スルトコロノ心理學ヲ意味スルニ至レリ。而シテ此ノ現實論ハ、執意説ト密接ナル關係ヲ有スルト共ニ、本質論ハ、主知論ト密接ナル關係ヲ有ス。何トナレバ、本質論ハ、變化的ナル心的現象ノ認識的方面ノ本體ヲ以テ、不變化的ト

ナスニ反シテ、執意説ハ、心的過程ノ根本的要素ナル意思ハ、心的過程ノゴトク、現實性ヲ有スルモノナリトスルニアルヲ以テナリ。之ヲ要スルニ、ヴント、ヘフディング、ゼームス、ヨードル、ラツド、バルドウインノゴトキ現代ノ經驗心理學者ハ、意識ト心的過程トヲ同一視スルモノナリ。然レドモ現代ノ心靈學徒中ニハ、ロツチエノ見ニ從ヒテ、意識的過程ノ統一ヨリシテ心的本質ノ存在ヲ主張スルモノアリ。然レドモ、スクノゴトキハ、過當ナル

意義ニ於イテノ意識ト云ヘル語ト、我ガ意識トヲ混同スルモノナリ。思フニ第一ノ意義ニ於ケル意識ナル語ハ、心的過程ノ集合ト云ヘルニ外ナラズシテ之ニ反シテ、第二ノ我ノ意識ト云ヘルコトハ、吾人ニ屬シ、且ツ吾人ノ人格ヲ構成スト云ヘルコトノ感情ニ外ナラズ。前者ニ於イテハ、心的生活ヲ構成スルトコロノモノニ、何等ノ心的事實ヲ添加スルコトナク、又是レヨリ何等ノ心理事實ヲモ生ゼザルコトヲ意味ス。換言セバ、吾人ハ、此ノ場合ニ於イ

テハ、相互ニ因果的系列ヲナシテ、結合シタル心的過程ノ外ニ何物モ存在スルコトナキモノナリ。心的生活ノ或ル與ヘラレタル瞬間ニ於イテ、表象、感情又ハ衝動ニ付テノ純心理過程ノ外、吾人ハ、吾人ニ直接ニ何物ヲ知覺スルカ、疑モナク、吾人ハ、是等ノ過程ハ、吾人ニ屬シテ、外ニ屬セザルコトヲ意識ストイヘドモ、是ハ所謂單純ナル意識ガ、吾人ヲシテ、吾人ノ自我ヲ知覺セシムル所ノ特殊ノ内的感覺ト結合セラレタリト云フコトニ付テ、何等ノ

證明ヲモ與ヘラレザルナリ。而シテ此ノ學說ハ、物質ノ觀念ノ類比ヨリ起リテ、近時獨リ形而上學者ノミナラズ。尙ホ又心理學的研究ニ生理學的研究法ヲ適用スル實驗心理學者中ニモ、之ガ維持ニ勉ムルモノアルニ至レリ。オスワルド、キユルベノゴトキハ、其ノ一人ナリ。然レドモ、由來物的現象ト、心的現象トハ、比較スヘキ何等ノ點モナク、且ツ各ノ因果律ハ、互ニ相異ナルモノナルヲ以テ、キユルベノ說ハ、未ダ以テ眞ナリトスルヲ得ザルナリ。

詳言セバ、物的世界ニ於ケル事實ハ、純粹ナル分量ニシテ、勢力不滅ノ法則(分量ノ變化)ニ支配セララル、モノナリ。隨テ此ノ不變性ヲ説明スルガ爲メニハ、永久ナル本質ノ觀念ニ依賴セザルベカラズ。然レドモ、由來原子及ビ物質ノ兩觀念ハ、感覺的知象ノ對象ニアラズシテ、唯獨リ現象ノミノ攻究ヲ以テ、目的トスルトコロノ自然科學ニ於ケル避クベカラザル概說タルニ過ギズシテ、吾人ニシテ斯クノゴトキ觀念ヲ假定セザレバ、吾人ハ、到底物的現

象ヲ證明スルコト能ハザルナリ。然ルニ心的世界ニ於ケル事實ナルモノハ、物的世界ニ於ケル事實ノゴトクニ、分量的ノモノニアラズシテ、却ツテ性質的價值ヲ有スルモノナリ。隨テ心的世界ノ事實ナルモノハ、常ニ同一ノ状態ニ止マラザルノミナラス、尙ホ又個人及ビ人種ニ於イテ、共ニ遂次増加スルモノナルコトヲ知ルナリ。此ノ故ニ吾人ノ心的道族ノ根底ニハ、何等ノ種類ノ本質ノ存在セザルコトヲ知ルベキナリ。

第三章 情的現象

1、意義……快樂又ハ普通ヲ帶ビタルコロノ心ノ調子ヲ云フ。

感情ハ、主觀的ナルヲ以テ、其ノ研究、甚ダ困難ナルモノナリ。吾人ガ、喜ビ、又ハ怒ルトキ其ノ現象ノ研究ヲナサントスト雖モ、其ノ場合ニアリテハ、心、既ニ平靜トナルモノナレバナリ。即チ喜怒哀ハ、其ノ現象ノ消エ去リテ、之ヲ研究スルコト能ハズ。

2、之ニ由リテ、之ヲ考フルニ、心身ノ状態ニヨリテハ、千差萬別ト云フノ外ナシ。

一五、感情

情的現象

口、性質

ハ、價值

1、吾人活動ノ要素

活動ハ、常ニ快苦其ノ動機トナルモノナリ。

2、人生幸福ノ基礎

苦痛ヲ去リ、快樂ヲ得テ以テ満足スルモノハ、人生ノ常情ナリ。

3、興味ノ根元

興味ハ、感情ノ状態トスル所、學術、道德、人情ノ原源ハ、興味ニアリ。

ニ、分類

1、... 感應

2、... 情緒

3、... 情操

何レモ別項トシテ次ニ掲グ。

精神物理學的唯物的學派ハ、一般ニ全クヘルバルト學派ノ見解ニ反對ナリトイヘドモ、單純感情ハ、

1、
感情ニ對
スル精神
物理學的
唯物的學
派ノ論說

強度ト性質トヲ感覺中ニ固有ストナストコロロノ點ニ於イテ、相一致セリ。彼等ハ、更ニ複雑ナル感情、即チ情緒ハ、感覺ニ伴フトコロロノ初步的ナル感情ノ結合ノ結果ナリトナセリ。而シテ該學派ノ代表者タルミュンステルベルヒハ、心理學ノ研究ハ、唯單ニ意識ノ知的方法ニ限ラル、セルヲ以テ、感情ニ對スル研究ヲ等閑ニ附シタルコト明ラカナリ。

ホルウイツ、バラット等ハ、ヘル

2、原始的活動ノ感情

バルト學派ノ感情導出說ニ反對シテ、感情ハ、意識ノ根本的活動ニシテ、且ツ一切ノ活動ノ源泉ナリトセリ。所謂感情的原基說、即チ是レナリ。

ペーンハ、苦樂ノ諸狀態ト、生活的活動力ノ増減トノ對度ヲ注示シ、且ツ感情ノ觀察ニシテ、且ツ主觀的ナル特性ヲ論證シタリ。又カラス及ビゼームスハ、強キ物のノ苦痛ハ、屢々唯、輕微ナル活力的感情ノ兆候タルニ過キズ。而シテ遂

3、感情ノ生理學的調明

ニ比例的ニ苦痛ナル外的兆候ナクシテ、深ク其ノ位置ヲ定ムルトコロノ有機的感情ノ存在スルコトアリトセシガ、是等ノ前提ヨリ出發シテ、ランデ及ビゼームスハ、感情ナルモノハ、唯、單ニ個人ノ有機的官能ノ表出タルニ過ギザルモノハ斷定スルニ至レリ而シテリポーハ、此ノ說ニ基キテ、感情ハ、有機的傾向ナリト定義セリ。又氏ハ感情ハ、知力以外ニ存在スト説クモノナレバ、幾分カ、ホルウイツ

感情ニ就テ

4、

感情ニ關スルヘルバルト學徒ノ說

ツノ見解分相一致スルヲ見ル。
ナローウスキ、フラルクマン、
ドロビツシユ、リツブスノゴト
キ、ヘルバルト學徒ノ見解ニ依ル
トキハ、感情ナルモノハ、諸表象
ノ交互的活動ノ結果トシテ生ズル
モノナリトナシテ。意識ノ原始的
活動タリトノ說ヲ退ケタリキ。又
カントハ、始メテ、或ル事物ニ歸
セラレズ。從テ感覺及ビ表象ト結
合セラレザル所ノ何等ノ感情ノ存
在スルコトナキコトヲ指摘セリ。

然レドモ、他ノ諸感覺ト結合セラ
レザルトコロノ單純感覺ハ、吾人
ニ苦樂ノ感情ヲ生ズルモノナリト
セリ。ヘルバルト學徒ハ、此ノ事
實ヲ説明センガタメニ情調ヲ有ス
ルトコロノ感覺ト、語ノ適當ナル
意義ニ於ケル感情トヲ區別セリ。
心理學ノ舊派ニ依ルトキハ、知力
ハ最モ高等ナル能力ニシテ、精神
ノ下等ナル能力ハ、Appetitesト稱
セラレ、今日ノ所謂認識、感情及
ビ意思ヲモ包含セシメラレタリ。

而シテ英國ノ心理學者及ビ之ガ紹
 繼者タリシ佛國ノ感覺學派ハ、初
 メテ認識ノ能力ヲ分析シテ、一切
 ノ智識ナルモノハ、感覺ニ發源ス
 ト云ヘル豫言ノ下ニ感覺ヲ以テ、
 知力的活動ノ基礎ナリト斷定スル
 ニ至レリ。然ルニ之ニ反シテ、
 オルフ以後ノ獨逸哲學者ハ、佛國
 及ビ英國ノ感覺論及ビ經驗學例ニ
 ヲリテ、影響セラレタリトイヘド
 モ、或ル時ノ間ハ、感覺ハ、心的
 生活中、理性、悟性ニ比シテ、遙ニ

5、
 高等能力
 下等能力

下等ナルモノナリトノ僻見ヲ懷
 キ、カントノゴトキモ之ト同様ノ
 見解ヲ持シタリ。而シテカントニ
 依レバ、感覺ハ、知識ノ材料ニシ
 テ、悟性及ビ理性ハ、其ノ形成ナ
 リトセラレタリ。
 從來感情ハ、道德的感情、審美的
 感情及ビ感覺ニヨリテ生ジタル感
 情ノ三種ニ區別セラレタリシガ、
 感情ト感覺トノ區別セラレタルハ
 頗ル後世ノコトニシテ、今日ニア
 リテモ、尙ホ兩者ヲ混同スルモノ

全ク之ナキニアラズ。エンケンノ
 說ニ由レバ、始メテ兩者ノ區別ヲ
 ナシタルハ、テランズニシテ、氏
 ハ、感覺ヲ以テ、事物ノ寫象ナリ
 トナシ、之レニ反シテ、感情ハ、唯、
 單ニ吾人ニ變化ヲ持チ來タストコ
 ロノ或ル物ニ過ギズトナセリ。而
 シテ有機感覺又ハ蔓延的感覺ニア
 リテハ、快樂又ハ苦感優勝ニシテ、
 感覺ガ、有スルトコロノ性質ト云
 ハル屬性ノ發現セザルモノアルガ
 タメニ、是等ト感覺トヲ區別スル

(141)

コトハ、更ニ困難ナリ。又感覺ト
 意思トハ、相互ニ密接ナル關係ヲ
 有スルヲ以テ、屢々前者ハ、後者
 ト結合セラレタル現象ナリト誤認
 セラル、ニ至レリ。例ヘバオルフ
 學派ハ、下等ナル意慾的能力中ニ
 苦樂、食慾及ビ激情ヲ包攝セシメ、
 高等ナル意慾的能力ハ、自由ニシ
 テ且ツ獨立ナル意思ヨリ成立スル
 モノナリトセリ。而シテ近世心理
 學ニ於イテハ、感情ト云ヘル語ハ、
 吾人意識ノ純主觀的變化ヲ形成シ

イ、意義……

感覺ニ伴ヒテ起ルトコロノ情ヲ云フ。一ニ感覺的感情ト云フ。

從テ外的事實ニ歸セラル、コトヲ得ザルトコロノ一切ノ心的狀態ヲ包含ス。而シテ是等ノ狀態ハ、種々ノ形式主ニ快、及ビ不快中ニ表現スルモノナリ。

1、

い、

感覺ノ強度ヲ増加スルニ從ツテ、感應ハ、却テ快感ヨリ苦感トナルモノナリ。

音樂ヲ聞クニ、其ノ音ノ微ナルトキハ、快感ナラズトイヘ

ロ、感應トノ差異

ろ、其ノ例

ドモ、其ノ音ノ高朗トナルニ至レバ、快感ヲ覺ユ。但シ其ノ音ノ高キニ過グルトキハ、却ツテ苦痛トナルモノナリ。

覺感ハ、刺戟ノ作用ニ依リテ、別種ノ覺感ヲ生ズルモノナリ。然レドモ、覺感ハ、是等ノ刺戟ヲ一體トシテ感ズルモノナリ。

ろ、其ノ例

美音ヲ聽キ、妙景ヲ見ルガゴトキ、共ニ快ヲ感ズベシ。

3、ハシトイヘドモ、感應ハ、却ツテ微弱トナル感覺ハ、反覆スルニ從ツテ、明確トナルベ

モノナリ。

い、味覺

兒童ニ最モ苦樂ヲ與フルモノナリ。

ろ、嗅覺

多クハ生長シタルモノニ起ルモノナリ。名香又ハ香水ニ於ケルガゴトシ。

は、觸覺

一般大ニ苦樂ヲ與フルモノナリ。

外部ノ感覺ノ伴フ感情

に、聽覺

最モ大ニ勢力アリ。柔カナル音ハ、人心ヲ和グルモ、大音ハ、人心

ヲ壯ニスルガゴトキモノナリ。

口、種類

ろ、視覺

最モ高尚ナル情ニ關スルモノナリ。明ラカナル色ハ、壯大ニ、淡色ハ、沈鬱ニ、赤黄ハ、強烈ニ、青紫ハ、平和柔軟ニ綠色中ニ位シ、黄色ハ、暖ニシテ且ツ快、又青色ハ、寒冷ヲ感ズルモノナリ。

一六、感應

ハ、發達

2、

内部ノ
感覺ニ
伴フ所
ノ感情

身體ノ晴雨計ト稱セララル、モノニシテ、消化、呼吸、循環、營養、筋肉ニ伴ヒテ、健全、勢力、自由、安固、又ハ之ニ相反シテ、抑壓、不安薄弱ノ感ヲ起スモノナリ。之ヲ稱シテ、生活感情ト云フ。

1、

幼兒ハ、味覺、觸覺、内部ノ感覺ニ由リテ、苦樂ヲ覺ユ、後嗅覺、聽覺、視覺ノゴトキ高尙ナルモノ、苦樂ヲ覺ユルニ至ルモノナリ。

2、

太鼓ノ聽覺ニ於ケル、赤色ノ視覺ニ於ケルガゴトク、明瞭且ツ單一ナルモノヲ喜

ビ、カクテ後高等複雑ナルモノヲ好ムニ至ルナリ。

最モ身體ニ注意シ、一般感情ヲシテ自由安易ナラシムルモノトス。

味、嗅覺、筋等ニ於ケル覺情ノ如キモ、適度ニ且ツ適當ノトキニ於イテ、之ヲ満足セシムルモノトス。

視覺、聽覺ノ感情ハ、一般ニ高尙ナルモノナリトス。之ニ由リテ、之ヲ満足セシメンコトハ、極メテ必要ノモノナリ。

常ニ規律ト節制トヲ以テ、之ヲ適度ニ調和セシムルモノトス。

二、注意要項

1、

2、

3、

4、

イ、意義…利害得失ニ依リテ、起ルトコロノ感情ヲ云フ。

口、感應ト
點ノ差異

1、内容

い、感應ハ、其ノ内容ハ、單ニ感覺ナリトス。
情緒ハ、其ノ内容ハ、種々ノ觀念ナリトス。

2、表現

い、感應ハ、重ニ心動脈搏ニ現ハル、モノナリ。
情緒ハ、之ニ加フルニ神經擾亂ヲ起スモノナリ。

1、筋肉上

愉快ナルトキハ、體ノ容積ハ、自カラ増大シ、苦痛ナルトキハ、自カラ縮少スルモノナリ。其ノ甚ダシキ

ハ、特徴

1、面相上

ニ至リテハ、戰慄シ、又ハ痙攣ヲ起スニ至ル。又或ヒハ卒倒シ、眩暈ニ終ルモノ少ナカラズ。
容貌ノゴトキ、眼光ノゴトキハ、最モ著シキモノナリ。

い、恐怖ノ情

將來ノ結果ニシテ、豫測スベカラザルノ時ニ起ル。又天性ニモアルベシ。彼ノ兒童ニシテ異人ヲ恐ル、ガゴトキハ、即チ是レナリ。

1、私情

ろ、憤怒ノ情

苦痛ヲ排除セント欲シテ、微動スルトキニ起ル。

は、活動ノ情

心身ノ健否ニ伴フトコロノ快苦ノ現象ナリ。

に、愛情

自己ニ快樂ヲ與フルモノニ起ル。若シ之ヲ失フトキハ、悲哀ノ情ノ起ルモノナリトス。

自己ノ價值ヲ自カラ認メタルトキニ起リ、其ノ度ニ過ゲルトキハ、

ほ、自重ノ情

高慢不遜トナリ、其ノ度ニ至ラズ、即チ自カラ價值ナキモノトスルトキハ、卑屈トナリテ終ルモノナリ。

へ、名譽ノ情

他人ヨリ自己ノ價值ヲ認メラレタルトキニ起ルモノナリ。

い、意義

他人ノ苦痛ヲバ、自己モソレト同一ニ感ズルモノヲ云フ。

一七、情緒

二、種類

い、意義

他人ノ苦痛ヲバ、自己モソレト同一ニ感ズルモノヲ云フ。

へ、名譽ノ情

他人ヨリ自己ノ價值ヲ認メラレタルトキニ起ルモノナリ。

ほ、自重ノ情

高慢不遜トナリ、其ノ度ニ至ラズ、即チ自カラ價值ナキモノトスルトキハ、卑屈トナリテ終ルモノナリ。

2、同情

ろ、價値

2、

結合ナシタルモノナリトス。

暴發激動ハ、深ク之ヲ抑制

セザルベカラズ。

不正不義ニ憤ルハ、或ル點

ニ至ルマデモ、寧ロ妨ゲナ

シ。是レ不正不義ヲ憎ムコ

ろ、

い、

1、憤怒ノ

は、

トノ念慮ノ強ヲ證スルモノナレバナリ。利害ノ判斷ニ訴へ、愛情同情以テ之ヲ服従スベキモノトス。濫リニ之ヲ抑制スルガ如キハ、却ツテ宜シカラザルナリ。

に、

嫉妬、怨恨、憎惡、反情等ノゴトキハ、之ヲ根絶スルコトニ努メザルベカラズ。大ニ之ガ利用ヲナシ、以テ之ヲ抑制ス此ガ如キコトア

ホ、
ルニ教育上
注於ケ

2、活動ノ
情

3、自重名
譽ノ情

い、
ルベカラザルノミナラズ。
宜シク之ヲ誘導スベキナ
リ。

ろ、
程度ニ應ジテ以テ成ルベク
干涉ヲ避ケザルベカラズ。

は、
競争奮起ノ情ノゴトキハ、
宜シク適當ニ助長セザルベ
カラズ。

い、
適當ノ科業ヲ以テ、自己ノ價
値ヲシテ之ヲ認メシムベシ。
指導、獎勵其ノ方ヲ得ルコ
トニ努メザルベカラズ。

ろ、

い、

は、

ろ、

い、

4、同情情

は、

ろ、

い、

慈愛、ハ之ヲ忘ルベカラズ。
同情ヲ表ハスベキ場合ハ、
多ク與フルコト、スベシ。
之ヲ及ボスベキ程度ハ、窮
民、不具者ハ勿論、下等動
物ニマデ至ラシムルコトヲ
要ス。

本能的反動ト情緒的表
出トハ、不識ノ裡ニ相
互ニ保護スルモノニシ
テ、吾人ノ本能ヲ感激
スルトコロノ各事物

ウイリヤム、ゼームスノ説

ハ、又情緒ヲモ感激スルモノナリトス。是等ノ表出ハ、吾人ガ、外的印象ニヨリテ、刺戟セラル、トキ起ルトコロノ反射運動及ビ自動運動ナリト又曰ク、身體的變化ハ、直接刺戟スル事實ノ知覺ニ次テ生ズルモノナリ。而シテ該變化ニ於イテノ吾人ノ感情ハ、即チ情緒

ナリト。之ニ由リテ、情緒ノ一般的原因ハ、ゼームスニ從フトキハ、疑モナク生理的ナリ。氏乃チ曰ク、吾人ハ、泣クガ故ニ、之ヲ悲シミ、打タル、ガ故ニ怒リ、戰慄スルガ故ニ怒リ、恐怖スルモノニアラズト。又曰ク吾人ニシテ或ル強キ情緒ヲ抽象セバ、吾人ハ、

其ノ後ニ何物ヲモ殘サ
 ヲルコトヲ發見スベシ
 ト。
 此ノ說ニ依ルトキハ、
 ゼームスノソレニ比シ
 テ、一層明白ナリ即チ
 氏ノ說ニ依ルトキハ、
 自發的興奮力ノ減少ナ
 ルモノニハ、簡單ナル
 モノ、脈管ノ收縮ニ伴
 フモノ、有機的筋肉ノ
 痙攣ニヨリテ、増加セ

註
 ゼームス、ウ
 イリヤム及ビ
 ランヂ二氏ノ
 情緒ニ關スル
 說

ろ、
 說
 ランゲノ

ラレタルトコロノ、收
 縮ニヨルモノ、不等ニ
 依リテ、増加セラレタ
 ル收縮ニ依ルモノアリ
 リ。又自發的興奮ノ増
 加ニハ、筋肉ノ痙攣ニ
 依ルモノ、脈管ノ膨脹
 ニ依ルモノ、不等ニ依
 リテ、増加セラレタル
 脈管ノ膨脹ニ依ルモノ
 アリ。而シテ是等ノ生
 理的形式ニ相應シテ、

幻惑、悲哀、恐怖、困
 亂、短氣、喜悅、憤怒
 ナル七情ヲ生ズト。然
 ルニ最初ニ外的生理的
 表出ガ、情緒ノ力ヲ増
 スコトアリト雖モ、暫
 時ニシテ、之ガ減少ヲ
 見ルコトアルハ、掩フ
 ベカラザルノ事實ナル
 ヲ以テ、ヘフディング、
 チーグラノーゴトキ心
 理學者ハ、悲哀ハ、哭

二氏ノ説
 ハ、實驗ノ
 結果

泣ニヨリテ増加セテ
 レ、哭泣ハ、悲哀ヲ靜穩
 ニスルモノアリト斷言
 スルニ至レリ。
 ガームス及ピランゲニ
 氏ノ説ハ、外的物的刺
 戟ノ作用ガ、情緒ニ及
 ボス影響ニ就テ、幾多
 ノ研究ヲ遂ゲタリシヲ
 以テ、二氏ガ、情緒ニ
 對スル意見ハ、多クハ
 實驗ノ結果ナリトス。

最近心理學者ノ說

ヘフディング、グント、サレー、バルドウィン、ラツド、キユルベ、リーマン、チーグラ等ノゴトキ近世心理學者ノ說ニ由ルトキハ、感情ハ、假令意思、認識ト相互ニ密接ニ結合セラレタルモノアリトイヘドモ、是等トハ、全ク相異ナレリ。且ツ獨立シタル自立的官能ナリトセラル。又是等ノ學者ハ、感情及ビ意思ナルモノハ、意識ノ最内部ノ部分ヲ表ハスモノナリトノ意見ヲ懷抱シタルヲ以テ、彼等ハ、主知學派ニ屬セザルコト明ラカナ

リトイヘド、而モ亦意思及ビ感情ヲ以テ、單ニ有機的官能ナリト思惟セザリシナリ。

イ、意義

自他ノ差別ナクシテ、利害ノ觀念ニ超越シ、事物ニ付テ、真正ノ價值ヲ感ズルトコロノ情ヲ云フ。

ロ、情緒ノ對比

1

情操ハ、之ヲ情緒ニ比スルトキハ、其ノ内容ニ至リテハ、一層ニ思慮ヲ要スルモノナリ。

2

情操ハ、之ヲ情緒ニ比スルトキハ、一層ニ精神的ニシテ、身體ノ表出ハ、劇烈ナラザルナリ。

い、意義

知識ノ作用ニ伴フトコロノ感情ヲ云フ。

知識自身ノ快樂

又ハ苦痛ナリ。

1、之ニ由リテ、好

奇心又ハ知的興

味ナリト云フベ

シ。

若シ最上位ニ向

ツテ、發達スル

コトヲ得ルトキ

ハ、眞理ノ理想

1、知的情

ろ、價値

2、ニ到達スルコトヲ得ベク、自己

モ亦之ヲ顧ミザ

ルニ至ルモノナ

リ。

3、徳性ノ發達ニモ

大ニ相關ス。

専ラ好奇心ヲ利

用スベキモノト

ス。

教授ノ方法ヲシ

テ精細ニ合理的

は、應用

に、意義

美醜ニヨリテ、快苦ヲ
覺ユルトコロノ感情ヲ
云フ。

一層高尚ナルモノニシ
テ、極メテ複雑ノモノ
ナリ。且ツ一般的、理
解的ノモノニシテ、現
實的、特殊のモノニ

2、

ナラシメ、且ツ
十分ニ知的興味
ヲ感ゼシムルコ
ト、スベシ。

は、性質

アラザルハ勿論、スベ
テ利害得失ヲ脱離シテ
唯、其ノ事物ニノミ付
テ、真ノ美點ニ對シテ、
快樂ヲ生ズルモノヲ云
フ。

1、體質

彫刻、建築
ニ於ケル所
ノ材料タル
木金土石ノ
ゴトキハ、
其ノ一例ナ
リ。

2、分量

大小、輕重、
強弱、高低
等ノ中ヲ得
ルト、否ラ
ザルトノ如
キハ、其ノ
一例ナリ。

3、形式

形狀ニ於ケ
ル輪廓、外
形等ノ其ノ
ノ當ヲ得ル
ト、否ラザ

へ、美ノ要

4、意匠

ルトニ於ケ
ルガ如キハ
其ノ一例ナ
リ。
事物ノ意味
ヲ表示スル
コトノ如何
ニアルガ如
キハ、其ノ
一例ナリ。
事物ノ遠近
法、重力法、

2、
美的情
操

5、
法
式

和聲法ニ適
スルヤ、否
ラザルト云
フガ如キハ
其ノ一例ナ
リ。

6、
配
合

如上ノ各要
素ガ、適當
ニ結合セラ
レテ、快感
ヲ與フルヤ
否ラザルヤ

一八、
情
操

7、
配
合

ニアルガ如
キハ、其ノ
一例ナリ。
形式ノ適當
ナルヤ、如
何ニアルガ
如キハ、其ノ
一例ナリ。

8、
均
齊

形式相應ジ
テ、同形状
ノモノヲ云
フ。

情的現象

と、種類

空間的美
 術ニシテ
 重ニ視覺
 ニ訴フル
 A、モノ、ゴ
 トク、建
 築、繪畫
 ハ、其ノ一
 例ナリ。
 時間的美
 術ニシテ
 聽覺ニ訴

心理學

一八

1、自然物

10、統一

9、反對

形式相應ジ
 テ變化且ツ
 異狀アルモ
 ノヲ云フ。
 形式中、其
 ノ前後ヲ統
 合一括スル
 モノヲ云フ。
 花鳥、山水
 等ニ於ケル
 自然的ノ美
 觀ハ、即チ
 是レナリ。

ち、
價
値

1、
最モ高尚ナル娛
樂ヲ供スルモノ
ナリ。

2、
罪惡ノ醜ニシテ
德行ノ頗ル美ナ
ルコトヲ感ゼシ
ムルモノナリ。

同情ノ交換ニ依
リテ、益々相交

トキハ、
其ノ一例
ナリ。

2、
物、人、工

B、
フルモノ
ノゴトク
詩歌、音
樂ハ、其
一例ナリ。

C、
空間的ト
時間的ト
ノ合同ヨ
リ成レル
美術ニシ
テ、舞踏、
演劇ノゴ

り、
ルニ教育上
注於ケ
意

- 3、ハルモノニシテ益々快樂ヲ増スモノナリ。
- 1、児童ノ身邊ヲシテ、美的ナラシムルナリ。
- 2、児童ヲシテ自カラ清潔ヲ貴ビ、秩序ヲ重ンジ、洒掃、應對ニ馴ル、ニ至ラシムルナリ。

い、
意
義

- 3、華奢贅澤ニ流ル、コトハ、勉メテ避クベシ。
 - 4、有ラエル美的練習法ハ、努メテ教科ニ用フルコト、スベシ。
- 善惡邪正ニヨリテ、快又ハ苦ヲ感ズルトコロノ感情ヲ云フ。

吾人ガ、
人生ノ目

一、種類

ろ、種類
2、義務

1、善惡

的ニ適合
シタル所
ノ行爲ヲ
云フ。之
ニ反スル
所ノ行爲
ハ、惡ナ
リ。
一ニ本分
トモ云ヘ
リ。人ノ
人タルベ

は、倫理的
情操

3、良心

キ道ヲ盡
スコトナ
リ。
行爲ノ善
惡ノ判断
ヲナシ、
善ヲ好ミ
惡ヲ憎ミ
善ヲナシ
テ、惡ヲ避
ケントス
ルノ行爲
ヲ云フ。

1、倫理的
感情

人類社會ノ禍福、吉凶、治亂ノゴトキモノニ直接ニ影響ヲ及ボスベク、又義務責任アリ。且ツ之ニ伴フニ實

は、比較

行ヲ以テセザルトキハ、其ノ價值ナキナリ。外界ノ事物ニヨリテ起ルモノナリ。故ニ人類社會ニハ何等ノ影

に、
ルニ教育
注於上
意ケ

- 1、
態ニ付テハ、深ク注意セザルベカラズ。
- 2、
スペテノ教科ニアリテハ、深ク之ヲ練習スルコトヲ勉メザルベカラズ。
- 3、
公德、私徳トモニ之ヲ尊重シテ實行セシムルコトニ導クベシ。

2、
審美的
感情

- 響ヲ及ボスコトナク、且ツ趣味上義務責任ナク、美ヲ見テ快感ヲ生ズトシテ、何等之ニ關セズ。
- 父母、長上ノ言行及ビ四周ノ狀況

4、訓練ハ、宜シク精神的ナラザルベカラズ

養育ト教訓トハ、父母タルモノ、第一ノ任務ナリ。父母ハ、己ノ徳不徳モ、自カラ其ノ子ニ遺傳スルモノナレバ、方正自カラ持シ、其ノ家庭教育ノゴトキモ、高尙ナル徳義ニ依リテ、行ハザルベカラズ。子ヲ教育スルニ際シ、訓誨、賞罰到ラザルトコロナキモ、若シ父母ノ習慣行爲ニシテ、方正ヲ缺クトキハ、終ニ其ノ益ナカルベシ。蓋シ幼

註
養育、訓誨ノ必要ナル所以

童ノ心タルヤ、極メテ柔軟ニシテ、恰モ植物ノ萌蘖ニ於ケルガゴトク、外物ノ刺戟ニ依リテ、容易ニ矯揉シ得ルモノナリ。スベテ其ノ四邊ニ目覩スルトコロノモノヲ模倣スルノ傾向アリ。故ニ平生父母ノ行フトコロハ、子女ハ、知ラズ、識ラズ其ノ行爲ニ倣ヒテ、之ヲ規範トナスハ、自然ノ情勢ナリ。父母ノ行爲ノ方正ナラズシテ、獨リ子女ヲ責ム。豈ニ其ノ教育ノ善良ナルヲ望ムヲ得ベケンヤ。

第四章 意的現象

イ、意

義

外界ニ於ケル或ル目的物ニ對シテ、之ヲ得、又ハ之ヲ避ケントスルトコロノ精神狀態ナリ。

1、知識
……客觀的。

2、感情
……主觀的。

3、意志
……主觀的。
……發働的。

1、自發運動。

2、反射運動。

ロ、他ノ心的現象ニ於ケル關係

1、知識
……客觀的。

2、感情
……主觀的。

3、意志
……主觀的。
……發働的。

1、自發運動。

2、反射運動。

一九、概意
說志

ハ、發達ノ順序

3、本能

4、衝動

5、願望

6、意志

次項ニ解説ス。

イ、自發運動

1、意義

2、例證

有機體內ニ蓄積セルトコロノ勢力ノ發現ナリ。

幼童ガ、平生跳躍且ツ舞蹈シテ遊ベルガゴトキヲ云フ。

1、意義

2、例證

外來ノ刺戟ニヨリテ、無意識ニ之ニ應ズルトコロノ作用ヲ云フ。

眼ヲ不意ニ打ツトキハ、最モ迅速ニ瞬キヲナシテ、之ニ應ズルガゴトキモノ即チ是ナリ。

ロ、反射運動

1、意義

2、例證

眼ヲ不意ニ打ツトキハ、最モ迅速ニ瞬キヲナシテ、之ニ應ズルガゴトキモノ即チ是ナリ。

ハ、本能

1、意義

教ヘラル、コトナシト雖モ、生來自己ガ、系統的運動ヲナスモノヲ云フ。

2、例證

動物ガ、哺乳ヲナシ、又ハ巢ヲ營ム等ノゴトキヲ云フ。

3、反射運動ノ差異

反射運動ハ、一時的ナリトイヘドモ、本能ハ、永久的ノモノナリ。反射運動ハ、外來ノ刺戟ヲ要スルモ、本能ハ、内部ニ於ケル心的傾向ヨリ起ルモノヲ云フ。

1、意義

心身ノ必要ヨリ起リタル目的ノ不明瞭ナル盲目的努力ヲ云フ。

2、例證

餓エタルモノハ、食ヲ撰バズ。如何ナルモノニテモ、之ヲ食ハントスルガゴトキヲ云フ。い、…目的ハ、不明瞭ナリ。

ろ、

不定ノ努力ニシテ、現在ノ状態ニ甘ンシ安ンズルコトナクシテ、更ニ他ノ状態ヲ求メントスルガゴトキヲ云フ。

二、衝動

3、性質

は、

専ら發動的ニ出ヅルモノニシテ、自カラ進ンデ、斯クノ如ク爲スベク、斯クノ如ク、爲サルベカラズトスルモノナリ。

情的、状態ヲ帶ブルモノニシテ、若シ其ノ遂行ヲ妨害セラル、トキハ、非常ナル苦痛ヲ感ズベクシテ、堪ヘラレザルガ如シトイヘドモ、之ニ反シテ、其ノ事ヲ遂行スルコトヲ

に、

得ルトキハ、大ニ愉快ヲ覺ユベシ。

二〇、意達ノ順序

4、種類

い、營養動ノ衝動ヲ云フ。

ろ、活動動ノ衝動ヲ云フ。

は、模倣動ニシテ、他ノ行爲動作ヲ模倣セントスルトコロノ衝動ナリ。

に、社交動ニシテ、他ニ向ツテ、交際ヲ求メントスルトコロノ衝動。